

動物のからだのはたらき④ [教科書49ページ]

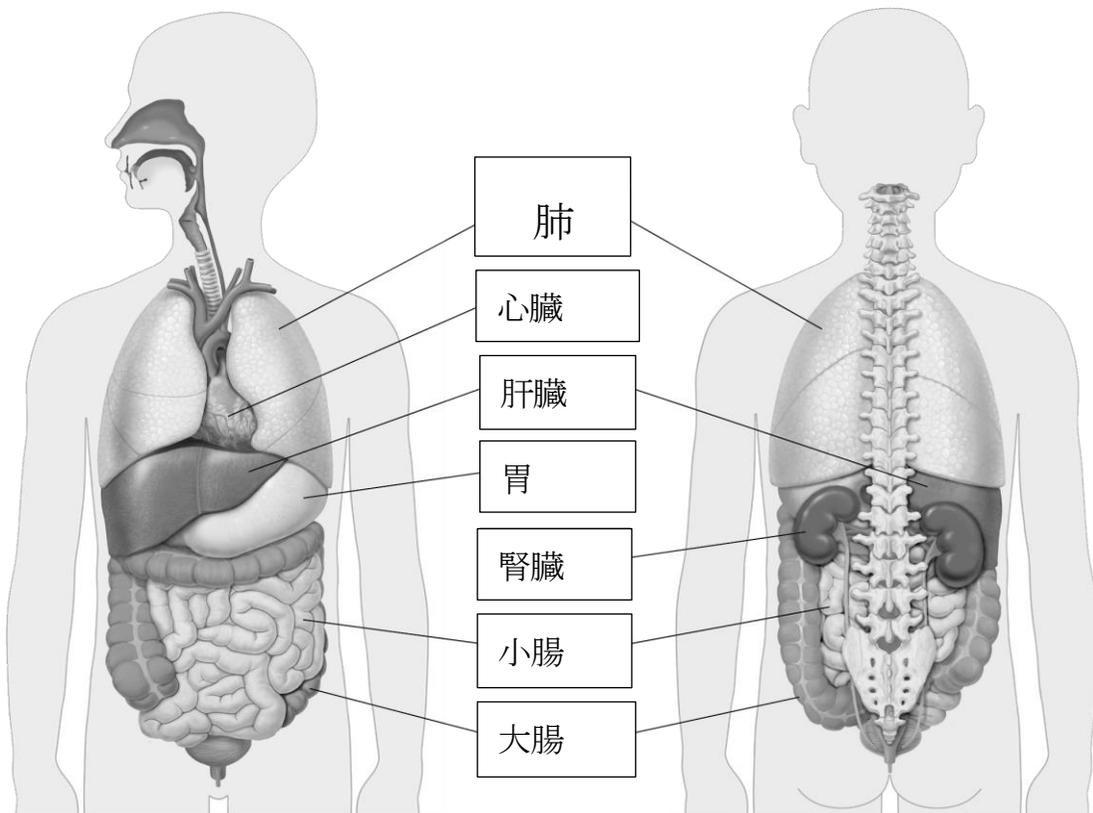
解答

胃、小腸、肺、心臓などのように、からだの中で、生きるために必要なのはたらきをしている部分を、( 臓器 ) といいます。

❖ の中に、当てはまる言葉をかき入れましょう。

前から見たようす

後ろから見たようす



❖ 次のそれぞれのはたらきに関係した臓器をかきましょう。

- ・消化と吸収のはたらき 胃、小腸、大腸
- ・養分を一時的にたくわえるはたらき 肝臓
- ・呼吸のはたらき 肺
- ・血液を全身に運ぶはたらき 心臓
- ・いらなくなった物を血液からとり除くはたらき 腎臓

動物のからだのはたらき⑤たしかめよう [教科書52～53ページ]

[ わかったかな・できたかな ]

1 人やほかの動物のからだのはたらきについて、まとめましょう。

□ (1) 人やほかの動物のからだのはたらきについて、( )の中に、  
当てはまる言葉をかき入れましょう。 [37, 42, 46 ページで思い出そう。]

① 人やほかの動物が食べた物は、( 消化管 ) を通る間に消化される。

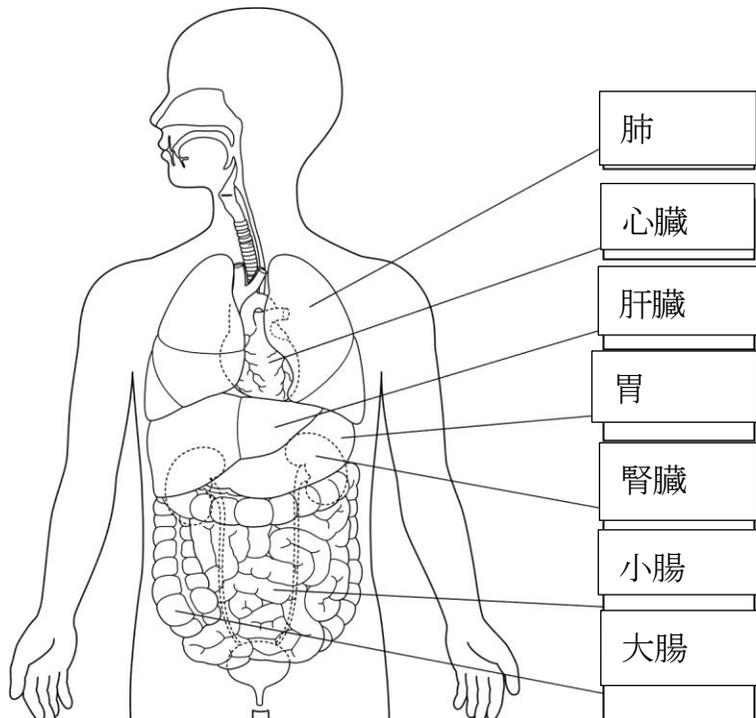
人の場合には、消化された食べ物の養分は、水とともに、主に

( 小腸 ) から吸収きゆうしゆうされる。

② 人やほかの動物は、呼吸こきゅうによって、空気中の( 酸素 )の一部を  
とり入れ、( 二酸化炭素 )をはき出している。

③ 血液は、( 心臓 ) から送り出され、( 血管 ) を通って、  
全身に運ばれる。血液は、全身をめくりながら、( 養分 )、  
酸素、二酸化炭素などを運ぶはたらきをしている。

□ (2) 人のからだのつくりについて、下の  の中に、当てはまる臓器ぞうきの名前を  
かき入れましょう。また、それぞれの臓器が、どのようなはたらきを  
しているのか、説明しましょう。 [49 ページで思い出そう。]



<p>胃</p>	<p>胃液を出して、食べ物を消化する。(p.37)</p>
<p>しょうちよう 小腸</p>	<p>消化された食べ物の養分を、水とともに吸収する。(p.37)</p>
<p>だいちよう 大腸</p>	<p>水を吸収する。(p.37)</p>
<p>かんぞう 肝臓</p>	<p>小腸から吸収された養分の一部を一時的にたくわえ、必要な時に、全身に送り出す。(p.39)</p>
<p>はい 肺</p>	<p>空気中の酸素の一部を血液に取り入れる。また、血液からは、二酸化炭素が出される。(p.43)</p>
<p>しんぞう 心臓</p>	<p>血液を全身に送る。(p.44、46)</p>
<p>じんぞう 腎臓</p>	<p>からだの中でいらなくなった物を、血液の中から取り除いて、ようをつくる。(p.48)</p>

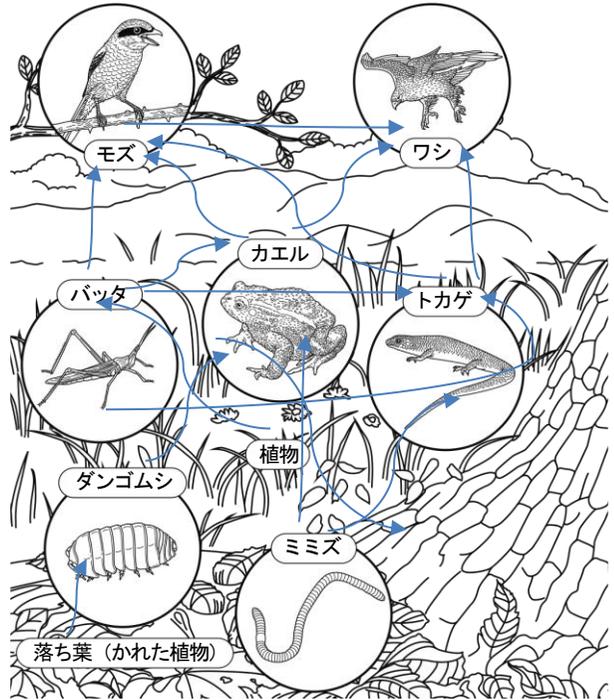
生き物のくらしと環境 [教科書74~75ページ]

? **問題** 生き物は、食べ物をとおして、どのようにかかわり合っているのだろうか。

🕒 **観察1** 自然のなかでの、動物の食べ物を調べましょう。

Ⓐ 動物の食べ物を調べる。  
・「食べられるもの」から  
「食べるもの」に向かって、  
右の図に矢印をかきこもう。

(例) シマウマ→ライオン



! **まとめ**

- ・生き物どうしは「食べる」「食べられる」という関係で1本のくさりのようにつながっている。このようなことを(食物連鎖)という。
- ・植物は、日光に当たると(でんぷん)をつくり、それを使って成長する。
- ・動物は、自分で養分をつくることができないので、(植物)や(ほかの動物)を食べて、その中にふくまれる養分を取り入れる。